

商業（財務会計Ⅰ）

履修単位	2単位	学年	2年	学科	商業科	コース	簿記コース	区分	必修・ 選択
------	-----	----	----	----	-----	-----	-------	----	--

1 学習内容と学習目標

財務諸表の作成に関する知識と技術を習得し、財務会計の意義や制度について理解するとともに、会計情報を提供し、活用する知識や技術、能力や態度を身に付ける。

2 教材等

教科書：高校財務会計Ⅰ 新訂版（実教出版）
 補助教材：完全段階式標準検定簿記問題集 全商1級会計（東京法令出版）
 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級会計（実教出版）

3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
一 学 期	第Ⅰ編 財務会計の基礎 第1章 企業と企業会計 第2章 企業会計制度と会計基準 第3章 企業会計の歴史	4	<ul style="list-style-type: none"> ○企業会計の意味とその目的及び役立ちを理解する。 ○財務会計と管理会計の違い及び財務会計の機能を理解する。 ○企業会計制度の意味を理解する。 ○企業会計原則の意味と一般原則の内容を理解し、企業会計基準の概略について知る。 ○財務諸表の種類と、特徴を理解する。 ○企業会計の歴史を通じ、会計基準の必要性和動向を理解する。 	期 末 考 査
	第Ⅱ編 資産 第4章 資産の分類と評価 第5章 流動資産 (その1 当座資産)	5	<ul style="list-style-type: none"> ○資産の意味と分類を理解する。 ○資産評価の基礎知識、重要性和考え方を理解する。 ○当座資産の意味と種類を明らかにする。 ○当座資産の各項目の記帳法を習得し、評価法を理解する。 	
	第6章 流動資産 (その2 棚卸資産 その他の流動資産) 第7章 固定資産 (その1 有形固定資産)	6	<ul style="list-style-type: none"> ○棚卸資産の意味と種類を明らかにする。 ○棚卸資産の期末評価、棚卸減耗損・商品評価損の内容を理解し、その処理法を習得する。 ○売価原価法の内容を理解し、その処理法を習得する。 ○固定資産の三つの区分を確認する。 ○有形固定資産のそれぞれの取得原価の計算方法を理解する。 ○資本的支出と収益的支出の考え方、処理法を理解する。 	
	第8章 固定資産 (その2 減価償却) 第9章 固定資産 (その3 無形固定資産) 第10章 固定資産 (その4 投資その他の資産)	7	<ul style="list-style-type: none"> ○減価償却の意味と減価の原因を明らかにする。 ○減価償却の計算方法と、各計算方法の特徴を理解する。 ○固定資産の除却と売却の処理法を理解する。 ○無形固定資産のそれぞれの取得原価の計算方法を理解する。 ○無形固定資産の期末評価を理解する。 ○投資その他の資産の意味と種類を明らかにする。 	
	《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、考査訂正 等			
《第1学期の評価方法》 定期考査、出席状況、授業態度、課題提出状況を総合的に評価する。				
二 学 期	第Ⅲ編 負債と純資産 第11章 負債 第12章 純資産	9	<ul style="list-style-type: none"> ○負債の意味と分類を明らかにする。 ○流動負債と固定負債の意味と種類を理解する。 ○社債の意味とその処理法を理解する。 ○引当金の意味とその処理法を理解する。 ○純資産の意味と分類を明らかにする。 ○資本金の増加・減少の意味と処理法について理解する。 ○資本剰余金・利益剰余金の内容とその処理法を理解する。 ○資本準備金と利益準備金の取り崩しについて理解する。 ○利益剰余金の内容とその関連する処理法を理解する。 ○任意積立金の積み立てと取り崩しの意味を明らかにする。 ○自己株式の意味とその処理法を理解する。 	期 末 考 査
	第Ⅳ編 損益計算 第13章 損益計算の意味と基準 第14章 営業損益の計算 第15章 経常損益の計算 第16章 当期純利益の計算	10	<ul style="list-style-type: none"> ○損益計算の意味を理解する。 ○損益計算の基準を明らかにし、それぞれの特色を理解する。 ○経常損益の意味を明らかにし、その分類を知る。 ○営業損益の内容と区別、営業外損益の内容を理解する。 ○特別損益の意味を明らかにし、その分類を知る。 	

	第V編 財務諸表の作成 第17章 貸借対照表の作成 第18章 損益計算書の作成 第19章 その他の財務諸表の作成	11	○貸借対照表の作成方法に棚卸法と誘導法があることを知る。 ○貸借対照表の形式、区分と科目の分類、配列について理解する。 ○報告式による貸借対照表の作成方法について理解し、損益計算書の形式、区分と科目の分類、配列などについて明らかにする。 ○報告式による損益計算書の作成方法について理解する。 ○株主資本等変動計算書の作成方法について理解する。	期 末 考 査
	第VI編 連結財務諸表 第20章 連結財務諸表の 目的と連結の範囲	12	○連結財務諸表の意味と必要性を理解する。 ○親会社と子会社の意味と連結の範囲を理解する。 ○支配獲得日の連結貸借対照表の作成手続きについて理解する。 ○子会社の資産・負債の時価評価による評価替えのための連結仕訳を理解する。 ○投資と資本の相殺消去の手続きについて理解し、評価差額が発生する場合の連結仕訳を理解する。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、考査訂正 等				
《第2学期の評価方法》 定期考査、出席状況、授業態度、課題提出状況を総合的に評価する。				
三 学 期	第21章 連結財務諸表の作成(その1) 第22章 連結財務諸表の作成(その2) 【全商簿記実務検定】	1	○上記の内容を連結精算表を用いて総合的に理解する。 ○剰余金処分項目の子会社配当金の修正について理解する。 ○連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書および連結株主資本等変動計算書のひな形を外観した後、連結精算表から連結財務諸表を作成する。	学 年 末 考 査
	第VII編 財務諸表の活用 第23章 財務諸表分析	2	○財務諸表の分析の意味や方法を理解する。 ○財務諸表の分析(収益性の分析・安全性の分析・成長性の分析)を理解する。 ○構成比率、趨勢比率の分析の方法を知る。 ○財務諸表分析を実際に行い習得する。	
	・総合問題演習	3	○総合問題演習で理解を深める。 ○これまでの一連の取引について確認する。	
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、考査訂正 等				
《第3学期の評価方法》 定期考査、出席状況、授業態度、課題提出状況を総合的に評価する。				
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は、後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し、年間の学習成績として評価する。				

4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	企業会計の意味や制度、財務会計の機能、財務諸表の作成、財務諸表からの情報を活用することに興味を持ち、財務会計の学習に積極的に取り組もうとしているか。	授業への取り組み 定期考査・課題提出
思考・判断・表現	企業会計に関する諸問題の解決を目指して、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、表現する能力を身に付けているか。	発表の内容等 定期考査・課題提出
技能	会計の基礎・基本的な考え方と技術を身に付け、会計情報を提供し、活用する能力を身に付けているか。	定期考査・課題提出 簿記検定
知識・理解	会計の基礎的・基本的な考え方と技術、財務諸表の作成、その財務諸表の活用を理解しているか。	定期考査・課題提出 簿記検定

5 授業を受ける際の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・学習の到達度を測るため、原則として全商簿記実務検定1級会計を受験する。 ・学期ごとの定期考査の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。 ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。
--